

2014年10月15日  
株式会社日立製作所

## 日立の藤澤技師長が工業標準化事業表彰における最高位 「内閣総理大臣賞」を受賞



株式会社日立製作所(執行役社長兼 COO:東原 敏昭/以下、日立)の研究開発グループ技師長の藤澤浩道は、このたび、経済産業省が主催する平成 26 年度工業標準化事業表彰において内閣総理大臣賞を受賞しました。

今回の受賞は、藤澤の長年にわたる国際標準化への貢献が高く評価されたことによるものです。藤澤は、2009 年に国際電気標準会議 (IEC) 副会長および適合性評価評議会 (CAB) 議長に日本人として初めて就任し、その卓越したリーダーシップによる IEC 国際標準化活動の牽引の功績が認められ、2011 年に 2 期目の IEC 副会長兼 CAB 議長に再任されました。また、国内においては、日本工業標準調査会 (JISC) 適合性評価部会委員を務めるなど、経済産業省や IEC 活動推進会議 (IEC-APC) の取り組みを精力的に支援・牽引し、日本における国際標準化活動の活性化に大きく寄与するとともに、日本産業界の地位向上に貢献しました。近年では、風力タービンにおける適合性評価制度の立ち上げを提案し、2011 年に風力タービン認証諮問委員会を設立するなど、日立をはじめとした日本の風力発電事業の国際規格化に大きく貢献しています。

工業標準化事業表彰は、工業製品の標準化推進活動に優れた功績を有する人財を表彰する制度です。このうち、内閣総理大臣賞は、ISO や IEC といった国際的な工業標準を定める機関における要職を歴任するなど、日本発の国際的な工業標準の実現に極めて顕著な功績があった者に対し、毎年 1 名を表彰するものです。

今回の受賞について、藤澤は次のように述べています。

「この度は、平成 26 年度工業標準化事業表彰の内閣総理大臣表彰を受賞し、大変光栄に存じます。私は国内の多くの関係者のご支援の下、IEC 副会長兼 CAB 議長に選任され、2009 年にその役職に就きました。この 6 年の任期の間、IEC として 17 年ぶりに 4 つ目の国際適合性評価制度「IEC 再生可能エネルギー試験認証制度」を立ち上げることができたことは、冥利に尽きることと感じております。今後とも、政府の工業標準化政策と歩調を合わせ、標準化活動の一層の強化と品質管理の充実において、真摯に尽力して参る所存です。」

以 上

■照会先

株式会社日立製作所 研究開発グループ 情報企画部 [担当:角田]

〒100-8280 東京都千代田区丸の内一丁目 6 番 1 号

電話:03-3258-1111 (直通)

---

このニュースリリース記載の情報(製品価格、製品仕様、サービスの内容、発売日、お問い合わせ先、URL 等)は、発表日現在の情報です。予告なしに変更され、検索日と情報が異なる可能性もありますので、あらかじめご了承ください。

---